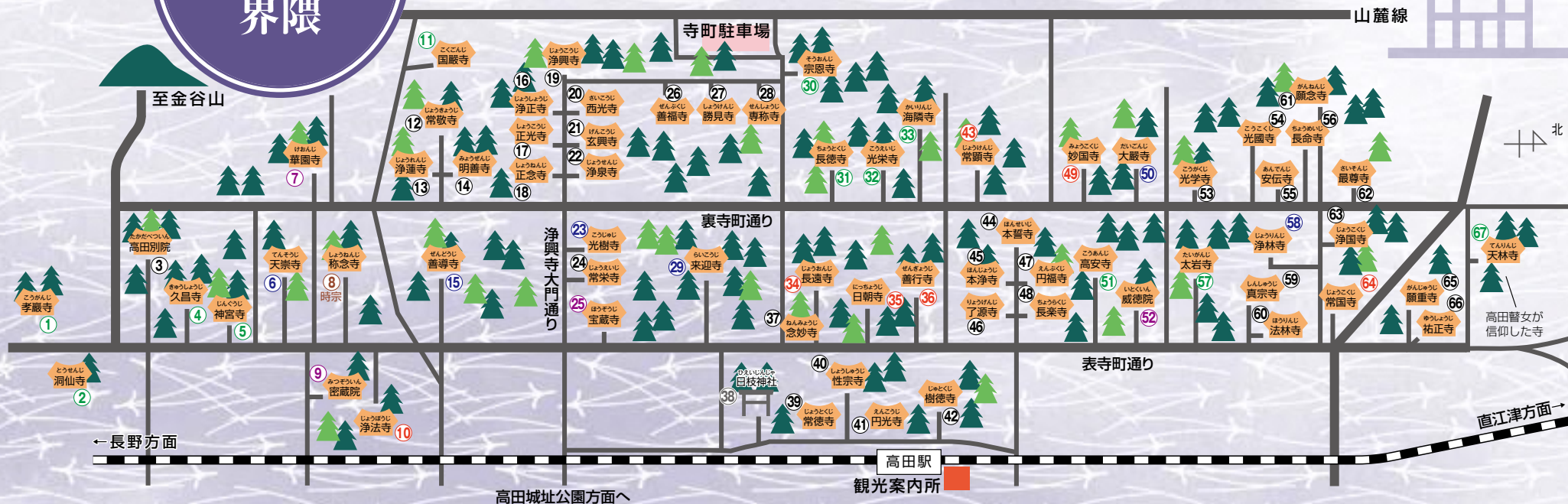


寺町 界隈

平行する約2kmの通りに今でも60を超える寺院が建ち並ぶ、全国でも珍しい一画です。これらの寺院は高田城築城に伴い春日山城下や福島城下、府中（直江津地区）から移転してきたもので、築城以前の上越の古い歴史を知ることができる寺院もたくさんあります。



※番号の赤字は日蓮宗、青字は浄土宗、黒字は浄土真宗、緑色は曹洞宗、紫色は真言宗、銀色は神社



国重要文化財

19 浄興寺 本堂

真宗浄興寺派の本山で、開創は親鸞聖人が常陸国で「教行信証」を著した寺に遡ります。その後、信濃国（長野県）へと移り、上杉謙信の招きによって春日山城下に移り、福島城下を経て高田城築城とともに寺町に移りました。本堂は国の重要文化財に指定されており、県内の寺院建築では最大・最古の真宗寺院です。その他多数の親鸞聖人ゆかりの文化財があり、宝物殿で拝観できます。

寺町2丁目6-45



コラム 親鸞聖人・恵信尼

浄土真宗の開祖 親鸞聖人は、承元元年（1207）、専修念仏の弾圧を受け、京都から越後国（上越市）に流罪となり、35歳から42歳までこの地で過ごしたと言われています。この間、恵信尼と出会い結婚。子どもにも恵まれました。

上越市指定史跡

親鸞聖人本廟

親鸞聖人の御頂骨が安置されています。明治21年（1888）の建立。



⑫常敬寺

「赤門さん」の名前で広く親しまれている常敬寺は、親鸞聖人の孫、唯善上人が弘安7年(1284)に下総国関宿村中戸(現在の千葉県)にて開いたお寺です。天正期の戦乱により寺領を失い、信濃国に退避し、慶長の初め頃に越後国に招請され、寛文6年(1666)に寺町に移りました。

寺町2丁目7-28



⑧称念寺

越後の時宗寺院の触頭として中心的な役割を担った称念寺は、遊行第6代の一鎮によって嘉暦2年(1327)、府中(直江津)に創建されました。はじめは応称寺といいましたが、応称寺二世蘭阿の時に称念寺と改め、現在地へは、高田城築城の時に移りました。本堂に安置されている木造一鎮倚像(いつしん いそう)は、仏師運慶の流れをくむ慶派の彫刻として県内唯一の貴重なもので、国の重要文化財に指定されています。

寺町2丁目11-12



国重要文化財
木造一鎮倚像



⑫上越市指定文化財

木造聖徳太子立像

常敬寺にある太子16才の姿をあらわした「孝養像」。「鼻取り太子」とも呼ばれています。



⑮善導寺

蓮開によって文明7年(1475)、直江津に創建されました。はじめは光明寺といいましたが、蓮開が夢のお告げにより直江津の浜で善導大師像を発見し、本尊としてから善導寺と改めました。現在地へは、高田城築城後に移りました。善導大師像は5代將軍徳川綱吉の母、桂昌院が篤く信仰したといわれており、国の重要文化財に指定されています。境内には、高田藩の家老として腕をふるった小栗美作の墓や、竜神の井戸があります。

寺町2丁目5-5



国重要文化財
木造善導大師立像

⑫上越市指定文化財

山門



⑥天崇寺

天正年間(1573~92)に上杉謙信公によって、長恩寺として春日山城下に創建されたと伝えられ、高田城築城後に現在地に移りました。明治16年、松平光長の母である高田姫勝子の院号である天崇院にちなみ、天崇寺と改称しました。

山門は高田城蹴出門と同形と伝えられ、市文化財に指定されています。境内には、高田姫(勝子)とその子亀姫の墓があります。亀姫は初代高松宮好仁親王に嫁ぎ、親王の死後、高田城三の丸に住みました。

寺町2丁目19-5



高田姫と高松宮初代妃の墓



天明地藏

天明の飢饉の死者を弔うため作られたお地藏様



本堂

③国登録有形文化財

③高田別院

享保15年(1730)に高田掛所として建立され、その後、明治2年(1869)に東本願寺高田別院と改称しました。創建以来、頸城地方における真宗大谷派の中心的な間法道場としての役割を担ってきました。江戸時代に建てられた山門・塀、本堂、鐘楼は、国登録有形文化財です。

寺町2丁目24-4